

女性・企業・社会にシナジー効果をもたらす
医師が開発した性差医療アプリ
「**WaiSE**」を活用した
健康経営促進サービスの構築と実証

経済産業省
令和5年度フェムテック等実証事業補助金
中間報告会 2023.11.22 via Zoom

総括事業代表者
国立大学法人
政策研究大学院大学保健管理センター
所長・教授 片井 みゆき

WaiSE
性差医学に基づく
女性のための新しいヘルスケア
ジェンダード・イノベーション
女性も男性も誰もが
一人ひとりに適した医療を
受けられる世界へ
WaiSE
ワイエス

事業背景・1 本事業のコア技術 **WaiSE**（ワイズ）とは？

月経随伴症状(PMS)・更年期・不定愁訴等の原因を解析し、 女性特有の健康課題を解決する性差医療アプリ「**WaiSE**」

- 女性専門外来 **10年分の臨床データ**とエビデンスに基づき、女性に対する問診スキル、女性に特化した診断アルゴリズムを実装した、これまでにない画期的なジェンダード・イノベーション(フェムテック)。
- 日本医療研究開発機構(AMED) 女性の健康の包括的支援実用化研究事業に採択され、片井みゆき医師(日本性差医学・医療学会副理事長)を研究開発代表とし、女性内科・内分泌内科・産婦人科・心身医学の医師達、生物統計専門家、ICT専門家、看護師、非医療者女性らの**研究班が5年をかけて研究開発**。



病気の発症率や症状は男女で異なり、治療法や薬の効果・副作用にも性差があります。
性差医療アプリ**WaiSE**は、女性の各ライフステージに伴う健康課題を解決に導きます。

事業背景・2 健康経営のために、性差医療アプリWaiSEが必要な訳

社会的問題

働く女性の「プレゼンティズム」

～女性は月経や更年期の不調をかかえながらも、我慢して働き続けている～

「働く女性の約半数が、月経や更年期による症状が強い時は、仕事のパフォーマンスが普段の半分以下と自覚

団塊ジュニア世代女性が更年期に入り、心身不調に伴う社会全体の労働力低下が懸念されている

従来の診療では更年期等の症状と他の疾患の症状の見分けが困難、女性は男性と比べて正確な診断に至るのがより難しい

これらの問題解決には

- ✓ 女性の健康課題解決には、性差(男女差)を考慮したアプローチ「**性差医学・医療**」が必要
- ✓ **健康経営**に性差医療アプリWaiSEを活用し、働く女性が日々の生活で使えるようカスタマイズ

- **性差医療アプリWaiSE**に、日々の仕事のパフォーマンスと疾病予防に重要な食事、睡眠、運動の**セルフチェック**と**セルフケアを促すレコメンド機能**を追加し、女性が健康に、各ライフステージを通して、いきいきと働くことを実現させる。
- 性差医療アプリWaiSEで、女性の多彩な症状を容易かつ的確に把握、**女性の健康管理とヘルスリテラシー向上**を実現すると共に、可能性のある病気、検査、受診科を示して**医療機関や健診への受診支援**を行う。

本事業の目的・目標

【事業目的】

今回、WaiSEの健康経営版として、食事アドバイスをはじめ、日常生活習慣に取り入れられるセルフケア（食生活、運動習慣等）をレコメンドする機能を追加し、新たにカスタマイズした[WaiSE健康経営版 WaiSE Work](#)を完成する。

これにより、働く女性のそれぞれの健康課題にきめ細やかに対応することで、ライフステージごとの健康課題（PMS、更年期症状・障害、生活習慣病等）を解決し、離職や休職を防ぎ、女性が生涯を通じてキャリア形成し、生き生きと力を発揮し続けられる、多様な人材が活躍する社会を実現する。

また、本事業で企画する「性差医学にもとづく健康経営促進セミナー(仮称)」は、フェムテックユーザの女性本人のみならず、職場の上司や同僚、周囲の人々も対象に企画し、性差医療、男女のライフステージに沿った心身の状況や変化、対策や予防法を知ることで、互いの心身の健康への気づき、思いやり、行動変容など、企業経営や社会活動へのシナジー効果が期待できる。

WaiSEによる医学的なエビデンスに基づき、働く女性のヘルスリテラシーを向上させ、希望するライフプランの実現、女性のライフステージに沿ったウェルビーイングの実現に向け、女性の健康を支援する事業を展開する。

【事業目標】

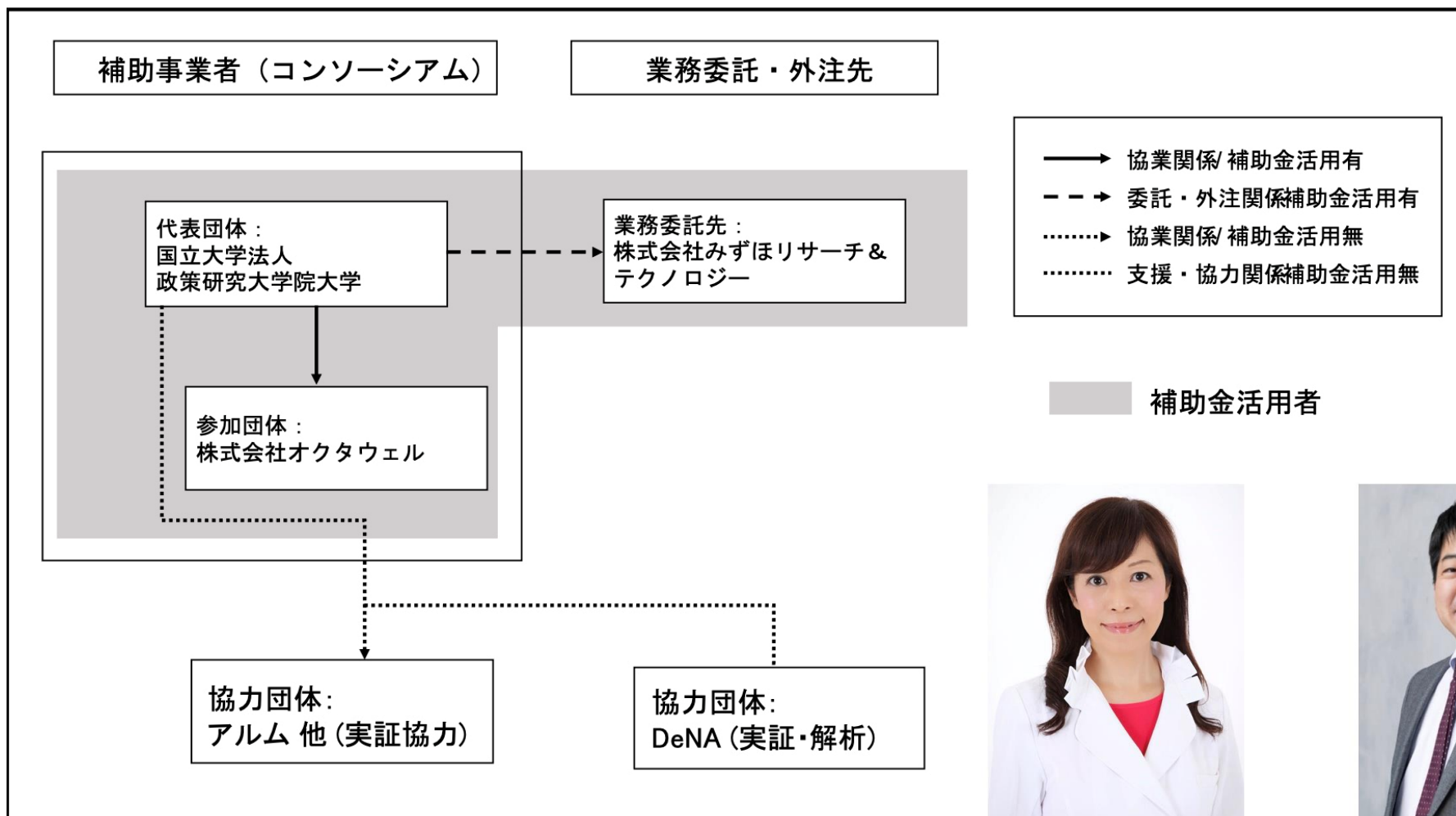
1：WaiSE健康経営トライアル版の作成:

無～軽症状者も含めて対象にしたウェルビーイングに資することを念頭に、WaiSEをカスタマイズし健康リスクチェック機能とケア＆サービスレコメンド機能の実装も検討する。

2：開発したサービスの実証と検証

3：性差医学・医療に基づくジェンダード・イノベーション(GI)の概念、実証内容をイベントで啓発・普及および市場調査

実施体制図



Miyuki Katai, M.D., Ph.D.



Teppei Sakano, CEO, Ph.D.



Reiko Takaki, CEO



実施項目と現在の成果

1 : WaiSE健康経営トライアル版の作成:

無～軽症状者も含めて対象にしたウェルビーイングに資することを念頭に、WaiSEをカスタマイズし健康リスクチェック機能とケア&サービスレコメンド機能の実装も検討する。

「女性が健康に働くための頼れる存在、日々使いたくなる」をコンセプトに、WaiSEの健康経営版カスタマイズ(リスクチェック機能、レコメンド機能等のコンテンツ作成と実装)を、参加団体、外注企業と連携して進めている。

2 : 開発したサービスの実証と検証

OODA(ウーダ)ループを取り入れて開発したWaiSE for Workサービスの実証と検証をDeNAとアルムの協力で12月中旬開始予定

3 : 性差医学・医療に基づくジェンダード・イノベーション(GI)の概念、実証内容をイベントで啓発・普及および市場調査

- 「性差医学・医療に基づくジェンダード・イノベーション」の講演の際に調査を実施。
- 講演後アンケートで、回答者の83.3%が仕事中に心身の不調を感じていた(現時点の回答者は計48名:女性38名、男性10名)。
- 健康経営に性差医療の視点をいれることに対し回答者の98%が「大変良い」「良い」
- 来年2月参加予定の健康博覧会でもアンケート実施予定。

WaiSE Work と OODA LOOP

OODAウーダーループは、Observe 観察、Orient 分析、Decide 決める、Act 行動からなる、刻一刻と変化する状況で成果を得るために有効な手段として最近、多くのビジネスシーンに導入されている。女性は月経、妊娠、更年期、閉経という女性ホルモン分泌変化による大きなゆらぎの中で、コンスタントな仕事のパフォーマンスが求められる。そこで、健康経営版WaiSEでは、OODA Loopを採用した開発を行なうことにした。

WaiSE

女性に特化した

- ✓ 心身の自覚症状の把握
- ✓ 観察と分析
- ✓ セルフケアや受診を勧奨
- ✓ 受診支援(問診まとめ、可能性のある病気、検査や受診科の提示)
- ✓ 疾患の早期発見
- ✓ ヘルスリテラシーの向上



WaiSE Work

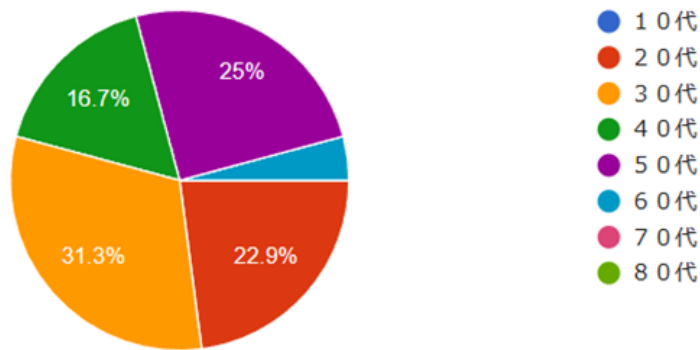
- 日々の睡眠、食事、運動、心身のコンディションの
- ✓ 観察・分析
 - ✓ セルフケア
 - ✓ レコメンド機能
 - ✓ 今日の仕事を乗り切るためのアドバイス
 - ✓ 明日、将来へ向けて整える
 - ✓ プレゼンティズムの改善

成果紹介「性差医学・医療に基づくジェンダード・イノベーション(GI)の概念の啓発・普及」

性差医学・医療に基づくGIセミナー後アンケート 集計結果を一部抜粋

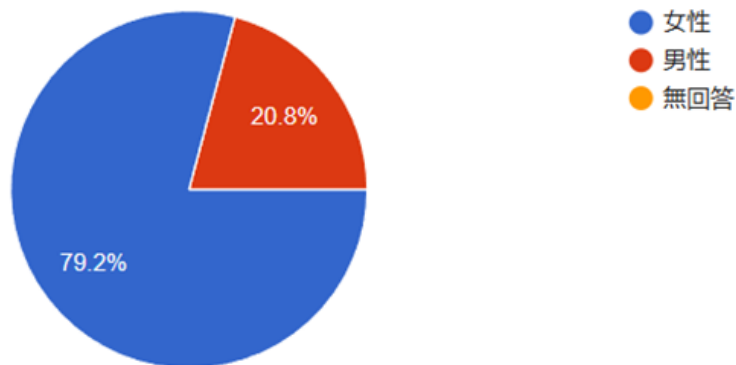
ご年代と性別を教えてください

48 件の回答



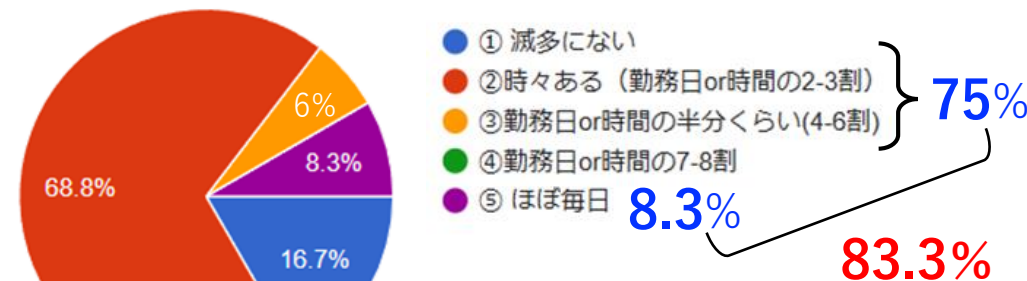
性別

48 件の回答



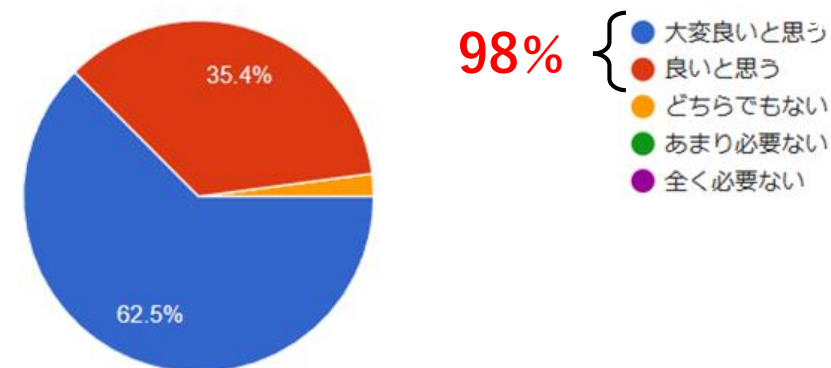
1. 仕事中に心身の不調を感じることはありますか？ (1つ選択)

48 件の回答



3. 質問2で示した選択肢はいずれも女性で多く、月経やライフステージに伴い出現しやすい症状です。こうした性差とライフステージを考慮した医療（性差医療）の視点を健康経営や職場健診に取り入れることについて、どう思いますか？ (1つ選択)

48 件の回答



現段階での課題・課題への対応策

- ▶ 計画通りに進捗できており、課題は特段なし。

今後の成果の見通し・展望

- ▶ セミナーでのアンケートでも、不調を抱えながら働いている現状と、健康経営に性差医療を求められていることが示唆され調査・解析を進める。
- ▶ 性差医療アプリWaiSEの健康経営版へのカスタマイズをさらに進める。
- ▶ 「健康経営版にカスタマイズした性差医療アプリWaiSE」(WaiSE Work)の実証試験を12-1月にかけて行う。実証終了後、導入に関心を示されている企業様にも実証期間に試用して頂く。
- ▶ 実証結果を踏まえたフィードバックを行い、WaiSE Workの実用化を目指す。
- ▶ 実証終了後に、導入候補となる各界の企業様に、企業様の実情に合わせたカスタマイズ希望の有無、導入価格プラン等についてのご意見をお伺いし、マネタイズを含めた検討を行う。
- ▶ 性差医学・医療に基づいたジェンダード・イノベーションの啓発・普及も継続して行う。



健康経営
のために
プロフェッショナルの力を



Copyright © フェムテック等サポートサービス実証事業

- 「性差医学・医療に基づいたジェンダード・イノベーション」の普及と啓発
- ブース展示による本事業で開発するサービスや本事業での成果を紹介
- ブース来場者へのアンケート調査、フィードバック
- ジェンダード・イノベーション及びフェムテックの市場調査
- 健康経営に関する展示・動向の視察
- 実用化に向けた人的交流

全体的なスケジュール

			2023年							2024年		
実施項目			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. WaiSE のカスタマイズによる健康リスクチェック機能とケア&サービスレコメンド機能の実装	1. 1 リスクチェックロジック開発	ヘルスケア版入力情報の検討										
		診断結果の整合性検討										
	1. 2 ケア情報に関するコンテンツ作成	栄養・食事メニューの開発										
		運動メニューの開発										
	1. 3 サービスとのマッチング機能開発	ケアサービスメニューとのマッチングロジック開発										
	1. 4 画面開発	入力画面、結果画面の開発										
2. 開発したサービスの実証と検証	2. 1 評価指標設計	評価指標の設定										
		測定方法の設定										
	2. 2 トライアル利用	モニター募集										
		事前アンケート										
		トライアル利用										
		事後アンケート										
	2. 3 評価検証	調査結果分析										
	2. 4 改善ポイントの抽出・改善	改善ポイントの抽出										
		改善方向性の検討										
3. 実証結果をイベントで普及啓発および市場調査	3. 1 広報ツール作成・配布	版下作成・印刷										
		配布										
	3. 2 セミナー講演による普及啓発	セミナー講演										
	3. 3 ブース来訪者へのアンケート調査	調査設計										
		実施・回収										
		分析										

WaiSE

性差医学に基づく

女性のための新しいヘルスケア

ジェンダード・イノベーション

女性も 男性も 誰もが
一人ひとりに適した医療を
受けられる世界へ

WaiSE HP



【総括事業代表者】

政策研究大学院大学保健管理センター
所長・教授 片井 みゆき (医師・医学博士)

〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1

TEL(代表) 03-6439-6000

E-mail: mkataimd@grips.ac.jp

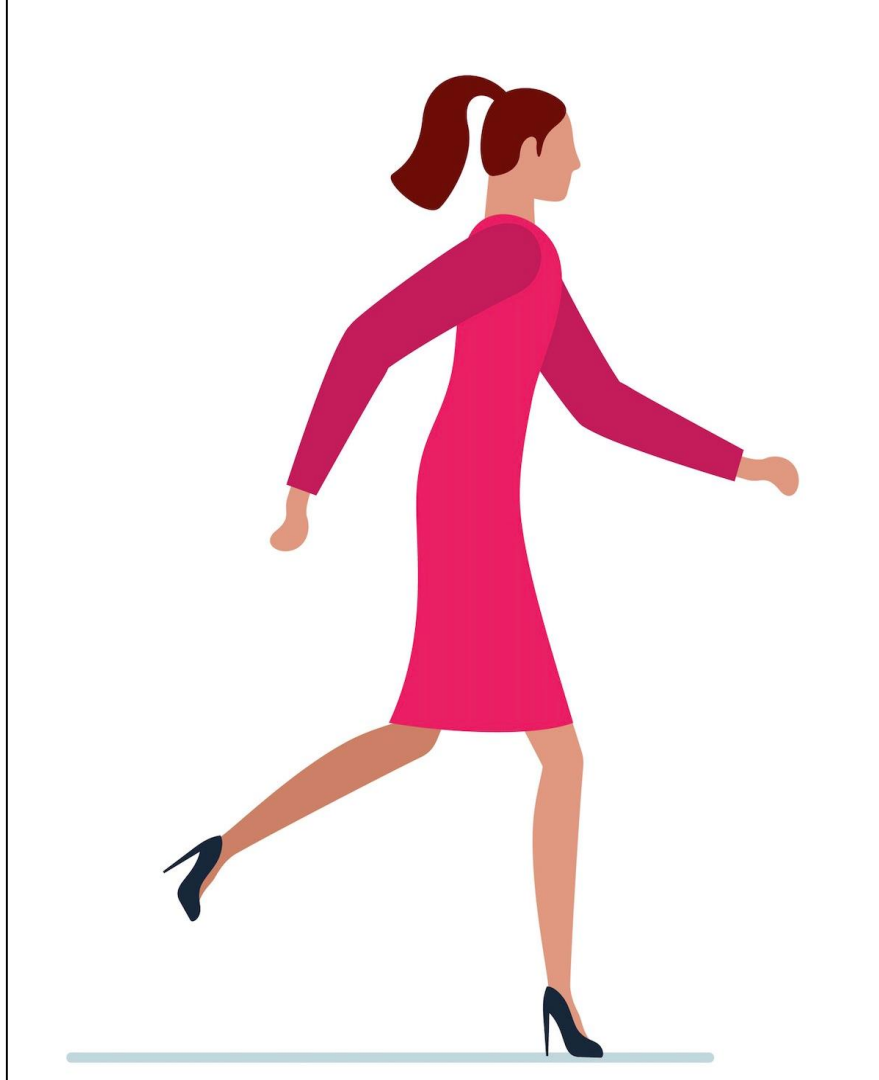
健康経営のため
プロフェッショナル
の力を



女性診療医・産業医・看護師・管理栄養士・
医療ICT等のプロフェッショナルチームが
開発した健康経営版アプリ

“WaiSE Work”

Coming soon !



WaiSE Work

始めましょう ジェンダー医学を活用した働き方